

2016年3月期第3四半期 決算概要



(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。

(例：2016年3月期は「2015年度」と表記)

資料内の「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。

決算概要①

売上高は、2009年度第3四半期以来、6年ぶりの減収
 経常利益は、2014年度第3四半期に続き、2年連続の増益
 2009年度第3四半期以来、6年ぶりの減収増益

■連結

(億円, %)

	2015/3Q (A)	2014/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	21,264	22,589	△ 1,325	△ 5.9
営業利益	2,379	621	1,757	282.6
経常利益	2,153	201	1,951	966.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,516	292	1,223	418.0

(億円未満切り捨て)

■個別

(億円, %)

	2015/3Q (A)	2014/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	19,798	21,206	△ 1,407	△ 6.6
営業利益	2,228	505	1,723	341.2
経常利益	1,985	62	1,923	大
四半期純利益	1,415	193	1,222	631.7

(億円未満切り捨て)

■主要諸元

項目	2015/3Q (A)	2014/3Q (B)	増減 (A-B)
販売電力量 (億kWh)	897	907	△ 10
原油CIF価格 (\$/b)	54.5	102.5	△ 48.0
為替レート(円/\$)	122	107	15
原子力利用率 (%)	—	—	—

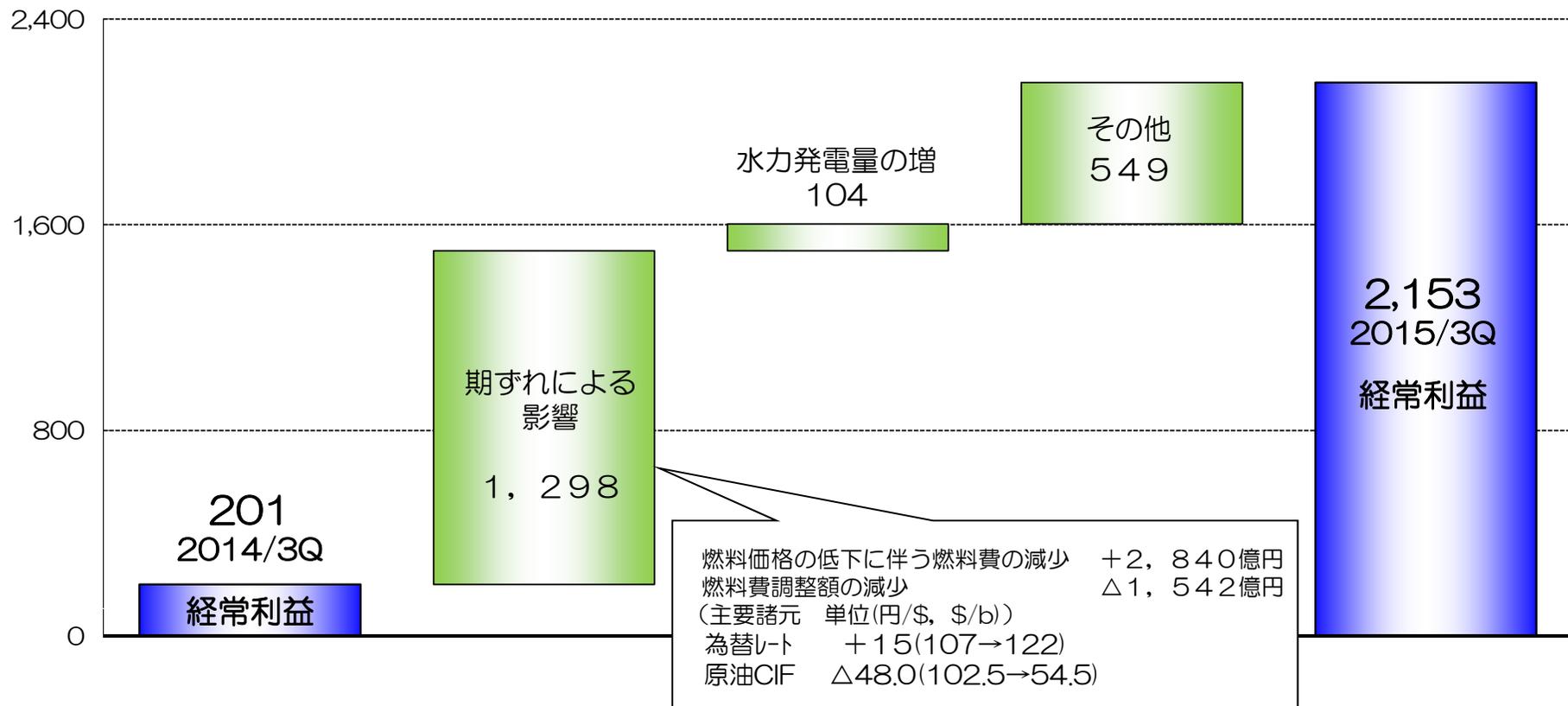
※ 2015年度第3四半期の原油CIF価格は速報値

<連結経常利益>

電気事業において、燃料価格の低下に伴う燃料費および燃料費調整額の期ずれ差益や水力発電量の増加に伴う火力燃料費の減少などにより、前年同期に比べ 1,951 億円増加

【連結経常利益の変動要因】

(単位：億円)



<規制対象需要>

- 電灯 冬季の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房設備の稼働減や節電の影響などから1.6%減少し、225億kWh
- 電力 気温影響による暖房設備の稼働減や契約電力の減少などから2.7%減少し、39億kWh

<自由化対象需要>

- 業務用 気温影響による暖房設備の稼働減などから1.1%減少し、158億kWh
- 産業用 自動車関連の生産減などから0.7%減少し、475億kWh

(億kWh, %)

		2015/3Q	2014/3Q	増減	
		(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
規制対象 需要	電灯	225	229	△ 4	△ 1.6
	電力	39	40	△ 1	△ 2.7
	計	264	269	△ 5	△ 1.8
自由化対象 需要	業務用	158	160	△ 2	△ 1.1
	産業用他	475	478	△ 3	△ 0.7
	(うち大口電力)	(387)	(388)	(△1)	(△0.3)
	計	633	638	△ 5	△ 0.8
合計		897	907	△ 10	△ 1.1

- 水力発電量 豊水（出水率2015/3Q：114.4% 2014/3Q：101.2%）により、8億kWh増加
- 融通・他社受電量 再生可能エネルギーの買取量が増加したことなどにより、25億kWh増加
- 火力発電量 上記の結果などにより、53億kWh減少

(億kWh, %)

		2015/3Q	2014/3Q	増減	
		(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
自 社	水力 (出水率)	77 (114.4)	69 (101.2)	8 (13.2)	11.3
	火力	810	863	△ 53	△ 6.1
	原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
	新エネルギー	0	0	0	70.7
融通・他社受電		91	66	25	36.8
揚水用		△ 5	△ 5	0	△ 12.6
合計		973	993	△ 20	△ 2.0

- **資産** 譲渡性預金の減少などにより短期投資が減少したことなどから、2015年3月末に比べ1,768億円減少
- **負債** 有利子負債の減少などにより、2015年3月末に比べ3,010億円減少
- **純資産** 親会社株主に帰属する四半期純利益などにより、2015年3月末に比べ1,241億円増加

(億円)

	2015/12末 (A)	2015/3末 (B)	増減 (A-B)
総資産	54,551	56,319	△ 1,768
負債	38,234	41,244	△3,010
純資産	16,316	15,075	1,241

自己資本比率(%)	29.2 (26.9)	26.1 (23.5)	3.1 (3.4)
有利子負債残高	26,489 (26,605)	29,189 (29,504)	△ 2,699 (△2,899)
期末金利(%)	(1.15)	(1.19)	(△0.04)

()内は個別

(億円未満切り捨て)

2015年度 業績見通しの概要

6

■ 連結

(億円)

	2015年度予想 今回公表 (A)	2015年度予想 10/30公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	28,700	28,900	△ 200
営業利益	2,600	2,300	300
経常利益	2,300	2,000	300
親会社株主に帰属する当期純利益	1,550	1,400	150

■ 個別

(億円)

	2015年度予想 今回公表 (A)	2015年度予想 10/30公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	26,600	26,800	△ 200
営業利益	2,500	2,200	300
経常利益	2,200	1,900	300
当期純利益	1,500	1,350	150

■ 主要諸元

(億円)

	2015年度予想 今回公表 (A)	2015年度予想 10/30公表 (B)	増減 (A)-(B)	変動影響額	
販売電力量 (億kWh)	1,233程度	1,243程度	△ 10程度	1%	70
原油C I F 価格 (\$/b)	50程度	57程度	△ 7程度	1\$/b	100 ※1,2
為替レート(円/\$)	121程度	121程度	—	1円/\$	60 ※1

※1 燃料費に対する変動影響額を記載しています。なお、原油CIF価格および為替レートの変動については、平均燃料価格が変動する場合に燃料費調整制度が適用され、収入に反映されます。

※2 LNG価格は原油価格の影響を受けることから、影響度合いを考慮して算定しています。

2015年度 個別業績見通し（対前期）

7

(億円)

	2015年度 予想 (A)	2014年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	26,600	28,990	△ 2,390 程度
営業利益	2,500	908	1,590 程度
経常利益	2,200	419	1,780 程度
当期純利益	1,500	273	1,230 程度

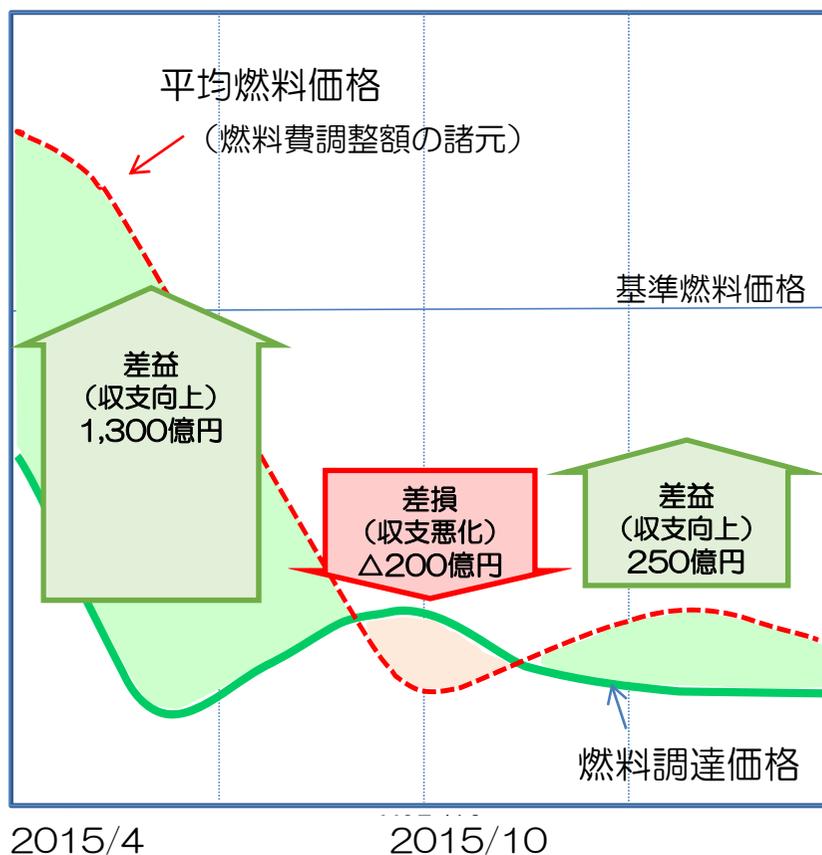
■主要諸元

	2015年度 予想 (A)	2014年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
販売電力量 (億kWh)	1,233程度	1,241	△ 8程度
原油C I F 価格 (\$/b)	50程度	90	△ 40程度
為替レート(円/\$)	121程度	110	11程度

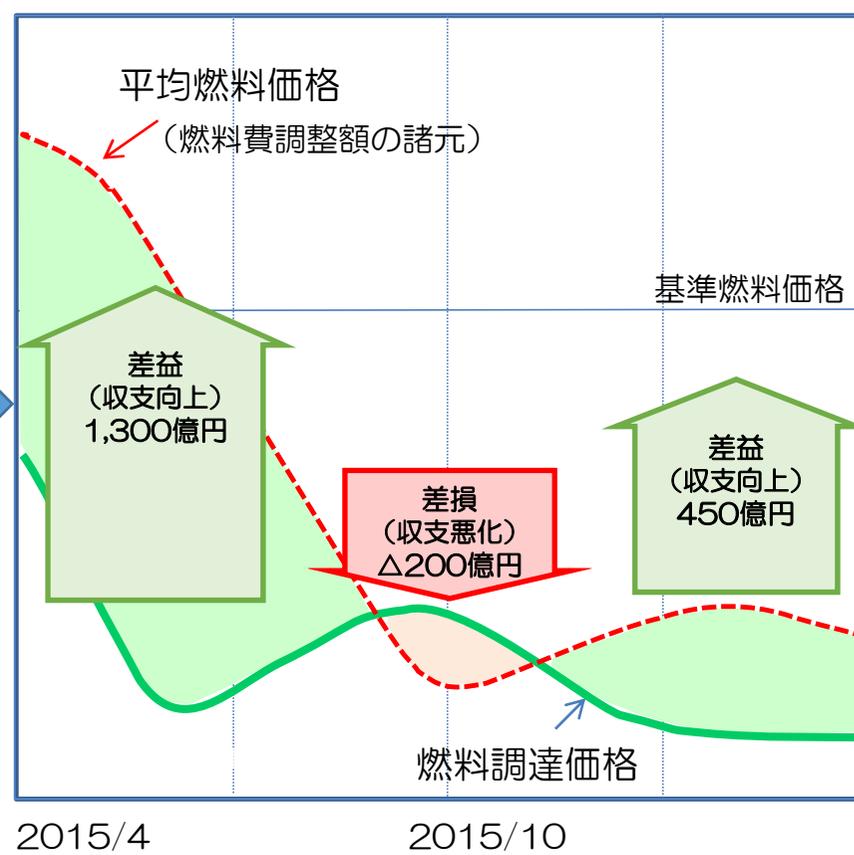
(参考) 2015年度における燃料費と燃料費調整額の 期ずれ影響のイメージ

8

○10月30日公表 (1,350億円)



○今回公表 (1,550億円)



■ 配当予想について

- 株主還元につきましては、電力の安全・安定的な供給に不可欠な設備の形成・運用のための投資を継続的に進めつつ、財務状況などを勘案したうえで、安定配当に努めていくことを基本といたしております。
- 2015年度は、経営効率化の深掘りに一定の目途が立ち、期ずれ影響を除いても、昨年度を上回る利益水準を確保できる見込みが立ちました。
- 期末配当予想につきましては、これに加え、今後も最大限の経営効率化を進めていく前提で、中長期的な財務状況や経営環境などを総合的に勘案して、1株につき15円と修正いたしました。

■ 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
2015年度	10円 (実績)	15円 (予想)	25円 (予想)
2014年度 (実績)	0円	10円	10円

当資料取扱上のご注意

当資料に記載の将来の計画や見通し等は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

これらの将来の計画や見通し等は、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向等により、実際の結果とは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

また、当資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。